PEDI JAPAN合同会社

建設の知見を、
未来のソリューションへ

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

2026年8月

PEDI JAPANが目指すソリューション開発

業界の課題、顧客ごとの課題から、使われる技術ソリューションをつくる

PEDI Japanのソリューション開発を支える三つの特徴

01

カスタマイズ型

技術・経験・業務プロセス・企業文化を重要な資産として理解。十分な対話を通じ、各社に最適な形を構築する。

02

DX × GX

業務改革、生産性・品質の向上と、環境負荷の低減、持続可能な経営を同時に追求する。

03

分野横断

建設工学を軸に、AI、情報、電気・電子、環境、人間工学、心理、経営などの知見を融合する。

自分たちが開発したいものではなく、お客様が本当に活用できるものを。

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

建設産業の課題は、互いに連鎖している

日本が先に直面する課題は、アジアでも共通性が高まる

01 人材不足・世代交代

熟練技術者の知識・判断を、次世代へつなぐ仕組みが必要

02 生産性・品質

限られた人員で、現場の情報共有と意思決定を高度化

03 気候変動・自然災害

変化するリスクに対し、より迅速で柔軟な対応が必要

04 インフラの老朽化

維持管理の効率化と、優先順位を含む合理的な判断が重要

連鎖する建設産業の課題には、個別対応ではなく、全体を見据えた解決策を。

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

PEDI Japanが生み出す価値

技術とデジタルを分断せず、現場課題から逆算する

01	**現場起点**	お客様と対話し、本当に活用できるカスタマイズ型ソリューションをつくる。
02	**技術 × Innovation**	建設の専門知とDX・GX、分野横断の知識を融合し、新しい価値へ進化させる。
03	**日本→アジア→世界**	日本で開発・実証し、アジア各国の課題や環境に合わせて共創・展開。その成果を世界へつなげる。

建設の知見を継承するだけでなく、技術と多様な視点で、新たなソリューションへ。

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

SiteLens
A PRODUCT BY PEDI JAPAN

の紹介

時空間キューブを活用した建設施工進捗のリアルタイム管理プラットフォーム

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

SiteLens
A PRODUCT BY PEDI JAPAN

時空間キューブのコンセプトを活用した施工進捗管理プラットフォーム

SiteLens

SiteLensは、施工位置、工程、作業、写真、承認などの現場データを一元管理し、現場とオフィスをつなぐ施工進捗管理プラットフォームです。
施工状況を「場所」と「時間」に紐づけて可視化することで、関係者がいつでも、どこからでも最新の進捗や課題を把握し、迅速で的確な意思決定を行えるよう支援します。



Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

現状

施工管理における代表的な課題

工期遅延
計画と実際の施工進捗との間にずれが生じ、工期が遅延する。



安全リスク
警告や事故・異常への対応が遅れ、適切に管理できていない。



連携不足
関係者間の情報共有・連携が不十分。





報告の乖離
報告内容が現場の実態を正確に反映していない。



リソース不足
人員・資材・機材が不足し、必要なリソースを確保できない。



コストの乖離
追加費用や施工数量を適切に管理することが難しい。



承認の遅れ
書類や各種依頼の処理に時間を要する。



データが分散し、関係者間の情報共有が遅れ、責任の所在が不明確な状況では、たった一つの警告を見落とすだけでも、コスト超過や重大事故、さらには人命に関わる事態につながる可能性があります。

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

根本課題

施工データが現場、図面、BIM、Excelなどに分散し、十分に連携・同期されていないことが、情報の不整合や管理業務の非効率を生む根本的な原因です。

現場のデータ



現場でデータを直接記録できず、図面と現場状況の照合が難しい。
進捗状況の把握や計画との差異の検知が困難。

設計・施工図面



2D図面が個別に更新されており、現場データや3Dモデルと連携されていない。
図面の改訂履歴やバージョン管理が難しい。
旧版の図面を誤って使用するリスクがある。

BIM データ



IMモデルが現場の実データと連携されていない。
情報が十分に同期されておらず、正確な数量の算出やレポート作成が難しい。

帳票・集計データ

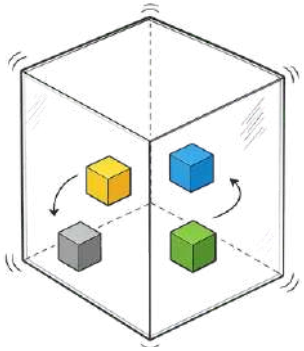


データが個別のファイルで管理されている。
手作業によるデータ入力ではミスが発生しやすい。
リアルタイムで更新されていないため、データの集約や報告書の作成が難しい。

データが複数の情報源に分散しているため、情報の管理・集約に時間を要するとともに、ミスや不整合が発生しやすく、プロジェクト管理の効率低下につながっています。

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

構想 SiteLens　SPACE - TIME CUBE



Space

+

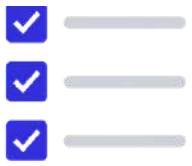


Time

進捗



作業



現場



承認



警告

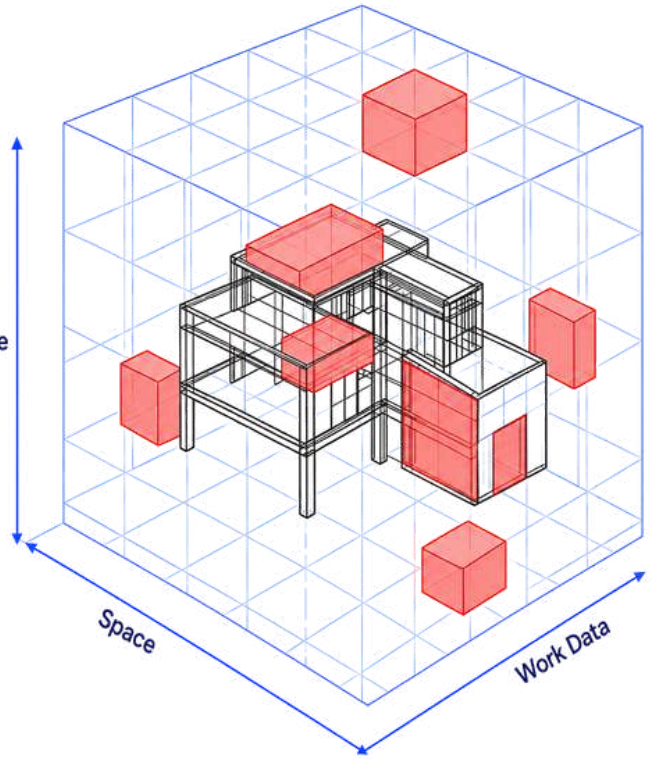


タスク

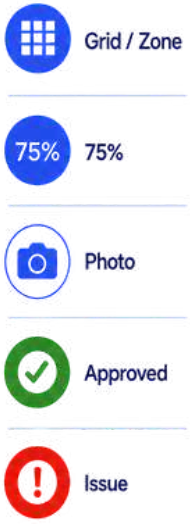


Work Data

=



Project Cube



Space - 現場のグリッドに基づく施工位置・施工エリア。

Time - 日・週・フェーズごとの時間軸、進捗状況・施工手順。

Work Data - 工程、作業内容、現場状況、承認、アラート、タスクなどの施工管理データ

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

SiteLensソリューション

SiteLensは、オフィスと建設現場をつなぎ、図面、作業、工程、施工データを一元的に管理できる統合プラットフォームです。
時空間グリッドモデルにより、作業を「正しい場所・正しいタイミング」で把握・管理し、初期設定、権限管理、情報更新、承認から、進捗の集約、レポート作成までを一貫して行うことができます。

データ連携



- 図面、作業、工程、写真、各種書類を一つのシステムで一元管理
- すべての情報を、プロジェクト、エリア、工種、担当者と紐づけて管理
- オフィスと建設現場が、同一のデータソースを共有

場所と工程に即した進捗管理



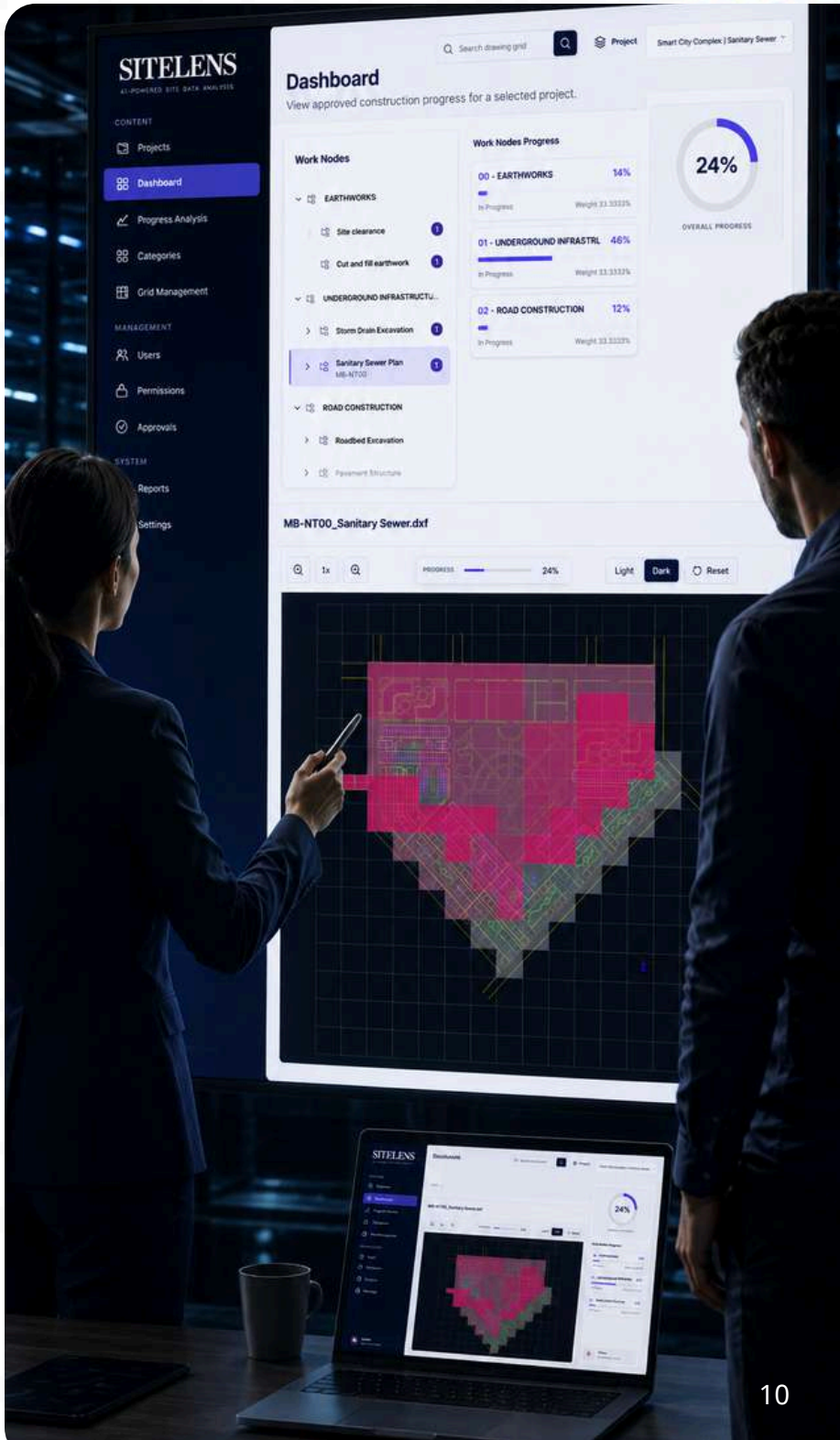
- 更新情報を、図面上の施工位置と実施時期に正確に紐づけて管理
- 作業構成とウェイトに基づき、進捗を自動集計
- 工程遅延や施工上の問題の早期把握を支援

一貫したプロセス管理



設定 → 権限管理 → 更新 → 同期 → 承認 → レポート作成→予測シミュレーションの7ステップを標準化する。

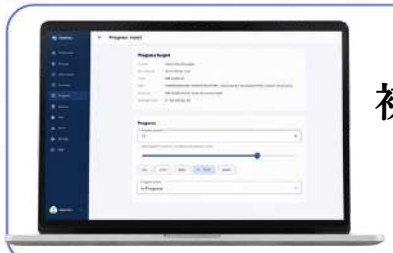
- すべての操作履歴を記録することで、透明性と追跡可能性を確保します。
- 承認やレポート作成にかかる時間を短縮し、施工管理業務の効率化を支援します。



Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

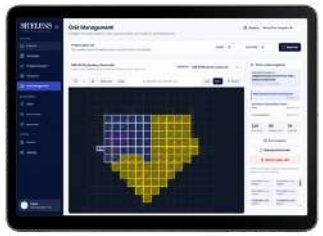
SiteLensソリューション

ソリューション構成



管理ポータル

初期設定、権限管理、承認、レポート



Web App

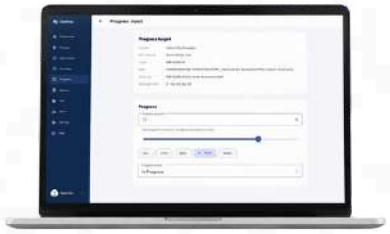
施工進捗の入力・確認、図面閲覧



Mobile App

現場記録、写真、進捗更新、承認申請

基本的な利用フロー



①初期設定・データインプット



②現場で施工進捗記録

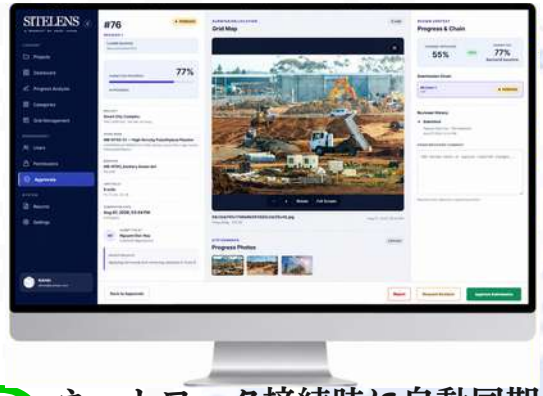
通信環境が不安定な現場での入力にも対応



③確認・承認

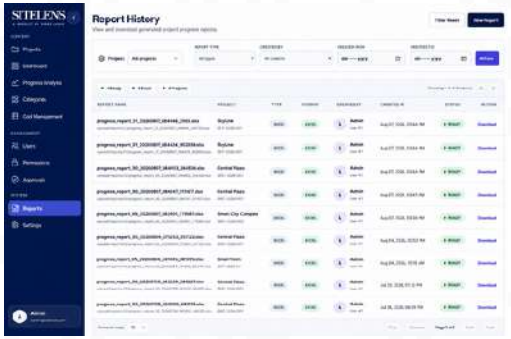


④進捗可視化

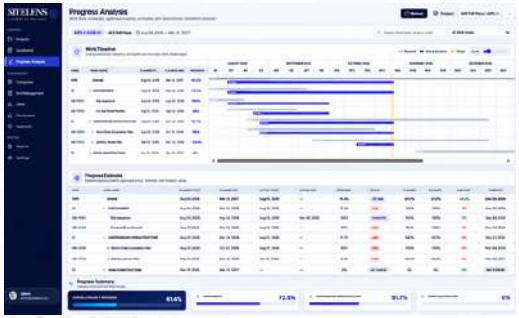


ネットワーク接続時に自動同期

⑤レポート自動作成



⑥予測シミュレーショ



Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

期待される導入効果

SiteLens 導入前

情報が分散 ・ 把握しにくい ・ ミスが起こりやすい



- Fragmented Data
- Hard to Identify Location
- Lack of Clarity
- Difficult to Trace

SiteLens導入後

時空間情報に基づく管理 ・ 透明性 ・ 効率化



導入前 → 導入後

- 空間情報に基づく管理
- リアルタイムでの可視化
- 業務効率向上 コスト低減への貢献
- 迅速な意思決定 リスク最小限
- データの一元管理 安全管理の高度化

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

想定ユーザーと代表的な利用シーン

SiteLensは、現場とプロジェクト全体の双方を支援します

ユーザー	よくある課題	代表的な活用
発注者・事業者	プロジェクト全体の進捗が見えにくい	承認済みデータに基づき、複数工区・作業の進捗を確認
ゼネコン・現場責任者	現場情報の集約と報告に時間がかかる	図面上で進捗、写真、課題、担当者を一元管理
建設コンサルタント・PM/CM	計画と実績の差異を把握しにくい	工程と実績を比較し、遅延や問題の兆候を早期に確認
現場監督・技術者	現場での記録、共有、承認が煩雑	モバイル端末から進捗・写真を登録し、承認を申請

現場で入力された情報を、関係者が同じデータとして共有し、迅速な判断につなげます。

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.

まとめ

・SiteLensは、人・データ・プロセスを一つのプラットフォーム上でつなぎ、建設施工プロジェクトに透明性・正確性・効率性をもたらします。

- データの一元連携・管理・活用
- リアルタイムで進捗管理
- より迅速・的確な意思決定・リスク管理
- 透明性・トレーサビリティの向上
- 現場管理の効率を総合的に向上、コスト低減への貢献

SiteLensは施工データをデジタル化するだけでなく、よりスマートで透明性が高く、未来を見据えた施工管理を実現します。

SEE EASIER. BUILD SMARTER.

SiteLensに関するお問い合わせ・パイロット導入のご相談は、お気軽にご連絡ください。
Email：contact@pedicivil.co.jp

Copyright © 2026 PEDI Japan GK. All rights reserved.